

令和6年 議会アンケートの結果について

議会活性化特別委員会

「アンケートの実施について ～御礼～」

加賀市議会では、加賀市議会基本条例に基づき、「開かれた議会」や「市民が参加する議会」を目指し、様々な議会改革の取り組みを行ってきております。

今回、これまでの議会での取り組みの検証と今後の議会活動・議会運営への課題整理のため、4回目となるアンケート調査を実施したところ、多くのご意見をいただき、誠にありがとうございました。

今回の結果については、議会全体で情報を共有し、今後の議会活動、議会運営に生かしてまいります。

お忙しい中、アンケート調査にご協力いただきました皆様方におかれましては、重ねて厚く御礼申し上げます。

「調査の方法・状況」

- | | |
|---------|----------------------------|
| 1. 調査地域 | 加賀市全域 |
| 2. 調査対象 | 市内の保育園、小・中学校に通うお子さんがいる世帯 |
| 3. 調査方法 | コドモン等を活用したLogoフォームによるアンケート |
| 4. 調査期間 | 令和6年9月 |
| 5. 回答数 | 985人 |

「調査項目」

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| 1. 問1～5 | 調査対象者属性（性別、年代、世帯数、就学区分、中学校区） |
| 2. 問6 | 市議会の関心度の把握 |
| 3. 問7 | 市議会だよりの読書率の把握 |
| 4. 問8～10 | 市議会の傍聴や視聴に対する把握 |
| 5. 問11、12 | 市議会の効果的な情報発信源の把握 |
| 6. 問13 | 市民の意見反映に関する評価の把握 |
| 7. 問14 | 市議会の活動に対する評価・意向の把握 |
| 8. 問15～17 | 市議会への全体的な意見・要望の把握（※問16, 17は自由記入） |

「集計表の見方(注意事項)」

1. 今回のアンケートは、各質問に対する回答を単純計算しています。
2. 複数回答となっている設問は、回答者数が全体数を上回っています。

「アンケートの分析」

次ページからは、過去の調査（R2など）との比較※や、年代別での集計など、議会活性化特別委員会による分析を記載してあります。

※今回の調査対象は、市内の保育園、小・中学校に通うお子さんがいる世帯としています。過去の調査の対象は、全市民（住民基本台帳から無作為抽出）で行ったため、過去の調査との単純な比較はできません。

設問1～5 性別・年代・地区について

- ・男性よりも女性の方が多い回答率となった。
- ・年代については、子育て世帯を対象としたため、40代が最も高い回答率となった。
- ・世帯人数については、4人世帯が最も多かった。
- ・就学区分については、小学生が最も多かった。
- ・地区については東和中学校区の回答が最も多かった。

《性別、年代》

性別	回答数	割合 (性別/合計)
男性	137件	13.91%
女性	848件	86.09%
合計	985件	35.00%

年代	回答数
10代	3件
20代	58件
30代	334件
40代	485件
50代	98件
60代	5件
70代以上	2件
合計	985件

《世帯人数、就学区分》

世帯人数	回答数
2人	30件
3人	209件
4人	386件
5人	227件
6人	80件
7人	36件
8人	13件
9人	4件
10人	0件
それ以上	0件
合計	985件

中学校区	回答数
未就学	448件
小学生	546件
中学生	381件
高校生	150件
その他	44件
合計	1569件

中学校区

中学校区	回答数
錦城	223件
山代	248件
片山津	121件
東和	253件
橋立	18件
山中	122件
合計	985件

設問6 関心度について

- ・全体では、議会に関心がある人は46.0%（前回54.8%）、関心がない人は54.0%（前回44.3%）と、前回調査よりも議会に対する関心度が低い傾向にあった。前回調査の対象は住民基本台帳から無作為抽出による調査であったため、今回の調査対象である子育て世帯においては議会に対する関心度が低い傾向にあることが推測される。
- ・子育て世帯では就業しつつ子育てを行う場合も考えられ、議会に目を向ける余裕がないということも想定される。今後は、子育て世帯の議会への関心度アップを図るための取組を検討していく必要がある。

《年代別結果》

選択項目	総計		10代		20代		30代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
関心がある	96	9.7%	0	0.0%	5	8.6%	34	10.2%
少し関心がある	352	35.7%	1	33.3%	13	22.4%	109	32.6%
あまり関心がない	388	39.4%	2	66.7%	20	34.5%	134	40.1%
まったく関心がない	149	15.1%	0	0.0%	20	34.5%	57	17.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	985	100%	3	100%	58	100%	334	100%

選択項目	40代		50代		60代		70代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
関心がある	42	8.7%	13	13.3%	2	40.0%	0	0.0%
少し関心がある	188	38.8%	41	41.8%	0	0.0%	0	0.0%
あまり関心がない	190	39.2%	37	37.8%	3	60.0%	2	100.0%
まったく関心がない	65	13.4%	7	7.1%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	485	100%	98	100%	5	100%	2	100%

《過去の調査結果との比較》

選択項目	R6年度人数	R6年度構成比	R2	H28	H25
関心がある	96	9.7%	18.7%	23.0%	16.7%
少し関心がある	352	35.7%	36.1%	41.6%	38.1%
あまり関心がない	388	39.4%	34.8%	27.8%	34.1%
まったく関心がない	149	15.1%	9.5%	7.2%	9.2%
無回答	0	0.0%	0.9%	0.4%	1.9%
合計	985	100%	100%	100%	100%

設問7 議会だよりについて

- ・全体では、「どの記事も読む」が過去の調査よりも減少し、「関心があるところだけ読む」と合わせた数値は、52%（前回64%）と前回よりも低い値となっており、今回の調査対象である子育て世帯では、読書率が低い傾向が示された。
- ・議会への関心度にもつながる、子育て世帯にアピールできるような議会だよりとするための工夫が必要となる。

《年代別結果》

選択項目	総計		10代		20代		30代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どの記事も読む	88	8.9%	1	33.3%	0	0.0%	19	5.7%
関心のあるところだけ読む	424	43.0%	0	0.0%	14	24.1%	131	39.2%
ほとんど読まない	281	28.5%	0	0.0%	11	19.0%	84	25.1%
知らない・見たことがない	192	19.5%	2	66.7%	33	56.9%	100	29.9%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	985	100%	3	100%	58	100%	334	100%

選択項目	40代		50代		60代		70代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どの記事も読む	56	11.5%	12	12.2%	0	0.0%	0	0.0%
関心のあるところだけ読む	223	46.0%	53	54.1%	3	60.0%	0	0.0%
ほとんど読まない	155	32.0%	28	28.6%	1	20.0%	2	100.0%
知らない・見たことがない	51	10.5%	5	5.1%	1	20.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	485	100%	98	100%	5	100%	2	100%

《過去の調査結果の比較》

選択項目	R6年度 人数	R6年度 構成比	R2	H28	H25
どの記事も読む	88	8.9%	18.4%	16.0%	13.9%
関心のあるところだけ読む	424	43.0%	45.6%	55.4%	45.4%
ほとんど読まない	281	28.5%	25.1%	19.8%	28.0%
知らない・見たことがない	192	19.5%	10.4%	8.2%	11.1%
無回答	0	0.0%	0.4%	0.6%	1.6%
合計	985	100%	100%	100%	100%

設問8～11 インターネット、ケーブルテレビ、SNSについて

- ・インターネットで議会中継を見たことがある人は8%（前回11%）と、前回調査よりも低い値となっており、ケーブルテレビで見たことがある人は11.5%（前回18.2%）と、こちらも前回調査よりも低い値となっている。また、SNS（インスタ、フェイスブック等）については「あることを知らなかった」が71%と、**あまり認知されていないことが明らかになった。**
- ・子育て世帯では、子育てや自身の就業もある状況から、近年のネット社会の中でも見る時間が取れないなどの理由があるものと推察される。
- ・**子育て世帯では、中継をみる時間的余裕もない状況であることを考慮して、より端的に議会の内容を伝える方法を検討していくことも重要と考えられる。**
- ・SNSの認知度が低いことから、その周知について検討していくことが必要となる。

《年代別結果》

(1) インターネット議会中継

選択項目	総計		10代		20代		30代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
見たことがある	83	8.4%	0	0.0%	5	8.6%	26	7.8%
知っていたが、見たことはない	261	26.5%	1	33.3%	9	15.5%	70	21.0%
パソコン等がない（使えない）ので見られない	23	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	10	3.0%
やっていることを知らなかった	618	62.7%	2	66.7%	44	75.9%	228	68.3%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	985	100%	3	100%	58	100%	334	100%

選択項目	40代		50代		60代		70代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
見たことがある	43	8.9%	7	7.1%	1	20.0%	1	50.0%
知っていたが、見たことはない	136	28.0%	42	42.9%	2	40.0%	1	50.0%
パソコン等がない（使えない）ので見られない	11	2.3%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
やっていることを知らなかった	295	60.8%	47	48.0%	2	40.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
合計	485	100%	98	100%	5	100%	2	100%

(2) YouTube での配信動画

選択項目	総計		10代		20代		30代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
見たことがある	64	6.5%	0	0.0%	3	5.2%	21	6.3%
知っていたが、見たことはない	173	17.6%	1	33.3%	4	6.9%	46	13.8%
パソコン等がない（使えない）ので見られない	12	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	5	1.5%
やっていることを知らなかった	736	74.7%	2	66.7%	51	87.9%	262	78.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	985	100%	3	100%	58	100%	334	100%

選択項目	40代		50代		60代		70代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
見たことがある	33	6.8%	6	6.1%	0	0.0%	1	50.0%
知っていたが、見たことはない	92	19.0%	28	28.6%	2	40.0%	0	0.0%
パソコン等がない（使えない）ので見られない	5	1.0%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
やっていることを知らなかった	355	73.2%	62	63.3%	3	60.0%	1	50.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	485	100%	98	100%	5	100%	2	100%

(3) ケーブルテレビの議会のライブ・録画中継

選択項目	総計		10代		20代		30代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
見たことがある	113	11.5%	0	0.0%	3	5.2%	32	9.6%
知っていたが、見たことはない	160	16.2%	1	33.3%	8	13.8%	45	13.5%
ケーブルテレビに加入していないので見られない	300	30.5%	0	0.0%	9	15.5%	93	27.8%
やっていることを知らなかった	412	41.8%	2	66.7%	38	65.5%	164	49.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	985	100%	3	100%	58	100%	334	100%

選択項目	40代		50代		60代		70代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
見たことがある	57	11.8%	16	16.3%	3	60.0%	2	100.0%
知っていたが、見たことはない	84	17.3%	22	22.4%	0	0.0%	0	0.0%
ケーブルテレビに加入していないので見られない	163	33.6%	35	35.7%	0	0.0%	0	0.0%
やっていることを知らなかった	181	37.3%	25	25.5%	2	40.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	485	100%	98	100%	5	100%	2	100%

(4)議会 SNS

選択項目	総計		10代		20代		30代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
加賀市議会のSNSを見たことがある	59	6.0%	0	0.0%	2	3.4%	19	5.7%
知っていたが、見たことはない	136	13.8%	1	33.3%	8	13.8%	32	9.6%
SNS自体利用していない	85	8.6%	0	0.0%	1	1.7%	21	6.3%
あることを知らなかった	705	71.6%	2	66.7%	47	81.0%	262	78.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	985	100%	3	100%	58	100%	334	100%

選択項目	40代		50代		60代		70代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
加賀市議会のSNSを見たことがある	33	6.8%	5	5.1%	0	0.0%	0	0.0%
知っていたが、見たことはない	77	15.9%	18	18.4%	0	0.0%	0	0.0%
SNS自体利用していない	50	10.3%	12	12.2%	0	0.0%	1	50.0%
あることを知らなかった	325	67.0%	63	64.3%	5	100.0%	1	50.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	485	100%	98	100%	5	100%	2	100%

設問 12 市議会の一歩の情報源について

- ・一番の情報源は、圧倒的に「議会だより」であり、65%（前回55.5%）と前回調査よりも高い値となっている。
- ・前回調査と同様、市議会ホームページ、ケーブルテレビ、市議会フェイスブック等の他の広報媒体よりも「議会だより」、「新聞記事」で情報を得ていることが分かる。
- ・子育て世帯であっても HP 等の閲覧は少なく、議会だより、新聞記事など紙媒体を情報源としている傾向が示される結果となった。

《年代別結果》

選択項目	総計		10代		20代		30代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
市議会だより	645	65.5%	1	33.3%	25	43.1%	206	61.7%
市議会ホームページ	53	5.4%	1	33.3%	5	8.6%	22	6.6%
市議会SNS（フェイスブック、インスタグラム）	75	7.6%	0	0.0%	11	19.0%	40	12.0%
議会傍聴（見学）	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.6%
議会報告会	3	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
新聞記事	145	14.7%	0	0.0%	10	17.2%	39	11.7%
ケーブルテレビ	37	3.8%	1	33.3%	6	10.3%	11	3.3%
インターネット議会中継	25	2.5%	0	0.0%	1	1.7%	13	3.9%
合計	985	100%	2	100%	51	100%	310	100%

選択項目	40代		50代		60代		70代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
市議会だより	341	70.3%	67	68.4%	1	10.0%	1	33.3%
市議会ホームページ	22	4.5%	3	3.1%	2	20.0%	1	33.3%
市議会SNS（フェイスブック、インスタグラム）	21	4.3%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
議会傍聴（見学）	0	0.0%	0	0.0%	2	20.0%	1	33.3%
議会報告会	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新聞記事	74	15.3%	22	22.4%	2	20.0%	0	0.0%
ケーブルテレビ	16	3.3%	2	2.0%	1	10.0%	0	0.0%
インターネット議会中継	9	1.9%	2	2.0%	2	20.0%	0	0.0%
合計	460	100%	94	100%	7	100%	3	100%

《過去の調査結果との比較》

選択項目	R6年度人数	R6年度構成比	R2	H28	H25
市議会だより	645	65.5%	55.5%	58.4%	-
市議会ホームページ	53	5.4%	5.0%	2.7%	-
市議会SNS	75	7.6%	0.7%	0.4%	-
議会傍聴（見学）	2	0.2%	0.7%	0.6%	-
議会報告会	3	0.3%	2.6%	0.8%	-
新聞記事	145	14.7%	23.8%	16.3%	-
ケーブルテレビ	37	3.8%	7.3%	3.5%	-
インターネット議会中継	25	2.5%	0.7%	-	-
無回答	0	0.0%	3.5%	14.0%	-
合計	985	100%	100%	100%	-

※比較の表中 H28 のインターネット議会中継欄が「-」なのは H28 年度の調査ではインターネット議会中継がなかったため。
なお、H28 年度は「その他」という選択肢（3.3%）。

設問 13 市民の意見反映について

・「思わない」「わからない」と回答した人は83.1%であった。まだまだ議会活動に対する認知・信頼が低い結果となった。

・この結果は、市内の子育て世帯の率直な意見であり、今後、「市民が参加する議会」を進め、認知度・信頼度を高めていくことが大切である。また、「開かれた議会」にも取り組み、議会での取組を知ってもらい、身近に感じてもらうようにすべきである。

・この結果を踏まえ、今後も積極的に地域へ出向き、子育て世帯に限らず、市民の意見をくみ取り、市民の代表として、今後の議会活動・議会運営をしていくことが大切である。

《年代別結果》

選択項目	総計		10代		20代		30代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
思う	5	0.5%	0	0.0%	1	1.7%	1	0.3%
やや思う	163	16.5%	0	0.0%	11	19.0%	53	15.9%
思わない	433	44.0%	2	66.7%	22	37.9%	151	45.2%
わからない	384	39.0%	1	33.3%	24	41.4%	129	38.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	985	100%	3	100%	58	100%	334	100%

選択項目	40代		50代		60代		70代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
思う	2	0.4%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
やや思う	77	15.9%	20	20.4%	1	20.0%	1	50.0%
思わない	214	44.1%	39	39.8%	4	80.0%	1	50.0%
わからない	192	39.6%	38	38.8%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	485	100%	98	100%	5	100%	2	100%

《過去の調査結果との比較》

選択項目	R6年度人数	R6年度構成比	R2	H28	H25
思う	5	0.5%	1.7%	2.1%	0.9%
やや思う	163	16.5%	21.8%	16.7%	16.2%
思わない	433	44.0%	37.2%	42.8%	43.8%
わからない	384	39.0%	37.6%	35.4%	35.5%
無回答	0	0.0%	1.7%	2.9%	3.5%
合計	985	100%	100%	100%	100%

設問 14 市議会の活動状況の評価について

- ・ 前回の調査結果と比較すると、評価する人は32.1%（前回40.7%）と低い数値を示しており、「大いに評価する」が6.0%（前回7.6%）とこちらも低い値である。
- ・ 「わからない」と答えた割合が52.2%（前回39.7%）と高い値を示しており、子育て世帯には議会の取組を伝えられていないことを示す結果となった。
- ・ この結果を踏まえ、市議会の活動を子育て世帯にも分かるような形で実施し、併せて周知を行っていかねばならない。

《年代別結果》

選択項目	総計		10代		20代		30代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
大いに評価する	56	5.7%	0	0.0%	6	10.3%	22	6.6%
ある程度評価する	260	26.4%	2	66.7%	13	22.4%	89	26.6%
あまり評価しない	110	11.2%	0	0.0%	7	12.1%	33	9.9%
まったく評価しない	44	4.5%	0	0.0%	2	3.4%	16	4.8%
わからない	515	52.3%	1	33.3%	30	51.7%	174	52.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	985	100%	2	100%	28	100%	160	100%

選択項目	40代		50代		60代		70代以上	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
大いに評価する	25	5.2%	3	3.1%	0	0.0%	0	0.0%
ある程度評価する	121	24.9%	32	32.7%	2	40.0%	1	50.0%
あまり評価しない	59	12.2%	9	9.2%	1	20.0%	1	50.0%
まったく評価しない	23	4.7%	3	3.1%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	257	53.0%	51	52.0%	2	40.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	228	100%	47	100%	3	100%	2	100%

《過去の調査結果との比較》

選択項目	R6年度人数	R6年度構成比	R2	H28	H25
大いに評価する	56	5.7%	7.6%	5.8%	0.7%
ある程度評価する	260	26.4%	33.1%	36.0%	28.2%
あまり評価しない	110	11.2%	13.8%	12.8%	18.6%
まったく評価しない	44	4.5%	4.7%	4.7%	4.9%
わからない	515	52.3%	39.7%	35.8%	45.2%
無回答	0	0.0%	1.1%	4.9%	2.4%
合計	985	100%	100%	100%	100%

設問 15 議会の取り組みについて

・上位の回答は、「意見交換会や意向調査（アンケート）を行い、市民の意向を把握・反映していくこと」（1位）、「分かりやすい質問や答弁を行うこと」（2位）、「子ども議会などの模擬議会の開催」（3位）であった。前回1位であった「議会報告会等を開催し、市議会での活動報告を市民に伝えること」は今回は8位であった。

・回答順位から伺えることは、**多くの子育て世帯は、「議会報告会等を開催し、市議会での活動報告を市民に伝えること」よりも「意見交換会や意向調査（アンケート）を行い、市民の意向を把握・反映していくこと」を望んでいるということである。**

参考：令和2年度の調査結果：1位 議会報告会を開催し、市議会での活動報告を市民に伝えること

3位 意見交換会や意向調査（アンケート）を行い、市民の意向を把握・反映していくこと

・子育て世帯における議会からの情報発信の強化については順位は低く（インターネット6位、議会だより9位）、議会からの情報発信の強化はそれほど望まれていない結果となった。

・議会活動を周知していくことが大切と考えていたが、設問13の結果も踏まえ、**子育て世帯としては、議員と直接意見交換を行い、自分たちの声を市議会を通じて市政に反映してほしいと考えている人が多いということが導き出される結果となった。** 今後は、子育て世帯においては、意見交換会の場を設けて意見を吸い上げていくことを通じて、議会への関心度を高められるのではないかと推察される。

《調査結果》

順位	選択項目	回答		R2 順位
		人数	構成比	
1	意見交換会や意向調査（アンケート）を行い、市民の意向を把握・反映していくこと	458	25.7%	3
2	分かりやすい質問や答弁を行うことにより、市民の議会への関心・傍聴意欲を高めること	329	18.5%	4
3	子ども議会や女性議会等の模擬議会の開催により、議会への興味・関心を高めること	299	16.8%	9
4	議員定数や報酬等の見直しを検討すること	255	14.3%	5
5	様々な分野の勉強や調査を行い、市政反映につなげること（調査機能の強化）	237	13.3%	11
6	インターネット等の活用により情報発信を強化すること（見やすく分かりやすいホームページづくり等）	205	11.5%	12
7	市政に対するチェック機能を強化すること（監視機能の強化）	181	10.2%	7
8	議会報告会等を開催し、市議会での活動報告を市民に伝えること	107	6.0%	1
9	市議会だより（年4回の充実や発行回数の増加により情報発信を強化すること）	97	5.4%	2
10	議会で政策提言や政策条例を策定すること（政策提言の強化）	73	4.1%	10
合計		2241	100%	

※ R2年度では6位に「通年議会を導入し、議会をいつでも開催できるようにすること（議会の権限強化）」、8位に「議会（委員会）を各施設（地区会館等）で開催し、市民が議会を見学しやすい環境をつくること」がりましたが、時勢を鑑みてR6年のアンケートでは選択肢からはずしました。

設問 16、17 市議会へのご意見・要望について

- ・様々なご意見を多数いただいた。
- ・「市議会に対する意見・要望等」については、議会全体としての考え方を示すとともに、議員各人において、しっかりと受け止めていくべきものである。
- ・「市政に対する意見・要望等」については、市民の声として市当局に情報提供するとともに、所管の委員会においても内容を把握し、必要なものについては対応を検討していく必要がある。

総括

全体的には、議会への関心度が46.0%と、前回調査時（R2）の54.8%に比べて、8.8%低い値を示す結果となった。

今回の調査対象は、市内の保育園、小・中学校に通うお子さんがいる子育て世帯であり、過去に実施したアンケート（R2年度、H28年度、H25年度）の調査対象は市民全般（住民基本台帳無作為抽出）であったことから、比較的若い世代を対象を絞って調査を行った。

過去の調査と同様、年齢層としては若い世代である子育て世帯の議会への関心度は依然として低い傾向にあり、今後、子育て世帯の議会への関心度を高めるための取り組みを積極的に進めていく必要がある。しかしながら、子育て世帯としては、議会報告会に参加して議会の活動報告を聞きたいのではなく、子育て世帯の意見を議会に伝えたいという回答が多かったことから、今後はその声に応じて意見交換の場を設けて、意見を吸い上げていくことが求められており、それにより関心度の向上が見込まれるものとする。

また、議会だよりによる情報発信、インターネットによる情報発信も議会としては力を入れて取り組んでいるものの、子育て世帯からは情報発信の強化を望んでいる声は今は少ない。ここにも議会の取組や結果を知りたいのではなく、自分たちの意見を聞いてほしいという思いが表れているのではないかと考えられる。市議会として声を吸い上げ、市政へつなぐことは大切であるし、その結果を市民に周知していくこともまた大切である。今後、この点について取り組んでいくことで、情報発信を望む声も増えていくのではなかろうか。

今回は、子育て世帯を中心とした意見をいただくことができた。過去の調査では見えにくかった部分が浮き彫りになったものと考えている。今回の結果を踏まえ、今後の議会活動において対象とする人たちが求めていることは何かを問いつつ進めていくことが必要である。

今回のアンケートによって、これまでの議会の取り組みについて、子育て世帯の率直な意見をいただき、また、今後の検討課題等も把握することができた。

調査結果を踏まえ、今後の議会活動、議会運営に生かしていかなければならない。